

事務事業名		市民健康づくり大会開催事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	012 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	019 生涯にわたる健康づくりの推進		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成元 年度～)	
	基本事業名	011 健康づくり活動の推進		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目	
所 属	部課名	生活福祉部国保年金課		会計	款
	課長名	佐藤 信一		項	目
	係 名	国保係	電話	0192-27-3111	事業
	担当者	武田 貴子	内線	143	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		健康増進の意識醸成のため、著名人による講演会や健康測定、健康相談等を開催する。 多くの市民に参加を求め、専門家による健康相談や測定、健康づくり講演会等の催しをととして、健康意識の高揚を図るものである。 主な業務は、①事業内容の企画、②周知、③事業実施。 事業費は、各種健康相談、指導、講演会の講師の委託料等である。		全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

各種健康相談、指導、講演会等の実施

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

前年度と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

国保被保険者を含む市民

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

多くの市民が健康づくりの大切さを学び、健康づくりに実際に取り組むようになる。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

国保制度を正しく理解してもらうとともに、健康について考える機会を設けることで、自己の健康づくりに寄与する。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 大会開催日数	日
イ 健康相談コーナー数	コーナー
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 人口	人
キ 国保被保険者数	人
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 大会参加者数	人
シ	
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	0	0	0	0	0	0
	人件費	事業費計(A)	千 円	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	0	0	0	0	0
		延べ業務時間	時 間	0	0	0	0	0	0
		人件費計(B)	千 円	0	0	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	0	0	0	0	0	0
⑤活動指標	ア	日		-	-	-	-	-	-
	イ	コーナー		-	-	-	-	-	-
	ウ								
⑥対象指標	カ	人		38,167	37,633	36,933	36,806	36,679	36,437
	キ	人		10,646	9,983	9,477	8,908	8,373	7,870
	ク								
⑦成果指標	サ	人		-	-	-	-	-	-
	シ								
	ス								

事務事業ID	0136	事務事業名	市民健康づくり大会開催事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
平成15年度まで個別相談主体の「健康づくりのつどい」（保健福祉課主管）と「健康づくり講演会」（国保年金課主管 平成元年度開始）を別々の事業として実施していたが、事業のスケールアップによる相乗効果を図ることを目的に、H16年度に「健康づくり大会」に一本化し両課連携によりスタートした。			
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
平成20年度の機構改革により、国保年金課に保健指導・予防部門の係が新設され、健康づくりの主体をなしていた保健師が配属されたことで、連携が強化された。 また、市民文化会館の落成により、会場の規模が拡大し、より多くの参加が期待できるようになった。（例年700人程度から1000人に増加した）。 平成23年度以降は、東日本大震災の影響により開催を見送っている。			
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？			
著名人による講演会は、多くの市民を集め、健康づくりに役立つ事業と好評を得ている。 また、個々の健康状態に対応した健康相談も、日頃の健康管理に直結するものとして参加者から評価を得ている。			

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 本事業の実施により、健康管理に関心を持つ機会を提供でき、市民の健康維持増進に寄与している。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市民の健康増進と国保財政の健全化を図ることを目的に実施している事業で、保険者が主体的に取り組んでいるものである。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 全市民が対象であり、対象の追加の必要はなく妥当である。 また、市民自らの健康づくりの気運が醸成されているところであり、現在は定着を図る時期と捉えている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 講師選定や、コーナーの工夫により、更に多くの市民に健康思想の普及を図ることが可能と考える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☒ 影響無 ⇒【理由】 ☐ 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 震災後7年間休止しているが、市民からの問合せは無い。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など） 事業費の大半を占める著名人を講師に迎えての講演を中核に置く現在のスタイルが妥当かについて、市民の健康や病氣予防への興味・関心の変化を分析し、より効果的となるような検討が必要。 また、隔年開催等も検討に値する。
	⑦ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど） イベント業者や警備会社等へ業務別に委託するなどで削減の可能性はある。 健康相談コーナーの充実や施設の構造上、安全管理上ある程度の人員は必要となることから、現在の形態のままでは削減の可能性は乏しいと考える。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っている不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 普及効果の向上を目的に、より多くの市民が参加できるよう参加費は無料としているが、健康診査、相談、講演会にかかる受益者負担については、今後の課題と位置づけ検討していく。

3 今後の方向性（次年度計画と予算への反映）(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				
東日本大震災以降休止状態であり、今後の事業のあり方について休止・廃止を含めて検討する。																								

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善（縮小・統合含む） ③ 終了・廃止・休止	講演会形式での事業は休止とし、健康づくりの推進活動についてより効果的な事業実施について検討する。